



日政連

March
2026/No.136
03.31

題字：故 野田 卯一氏

第51回衆議院議員総選挙

日政連推薦の212名が当選

第51回衆議院議員総選挙は令和8年2月8日投開票され、自民党が316議席を獲得し、単独で定数465の「3分の2」を超える歴史的な大勝となった。小選挙区では1都30県をほぼ独占し、比例でも議席を伸ばした。

日政連推薦の自民党議員は小選挙区・比例で計212名が当選を果たした。

一方、立憲民主党と公明党が合流した中道改革連合

は49議席と大幅に議席を失い、与党のパートナーである日本維新の会は36議席、国民民主党は28議席と小幅な増加にとどまった。参政党(15議席)やチームみらい(11議席)など新興勢力が比例で躍進し、国会の構成は大きく変化した。

自民党が歴史的な大勝を収めたことで、高市政権は強固な基盤を得て、「責任ある積極財政」を中心に、経済成

長を重視した政策の推進に本格的に取り組むことになる。

高市政権には、安定した政策運営のもとで地域経済の活性化と住宅市場の安定につながる政策の着実な実行を期待したい。さらに、住宅取得支援や税制の簡素化など、不動産取引の活性化につながる制度整備も重要で、市場の透明性を確保しつつ、地域密着型の事業者が持続的に成長できる環境づくりを進めてもらいたい。

日政連推薦の自民党当選議員一覧表 (敬称略)

<p>北海道</p> <p>高木 宏壽 中村 裕之 和田 義明 鈴木 貴子 向山 淳 武部 新</p> <p>青森県</p> <p>津島 淳 神田 潤一 木村 次郎 江渡 聡徳</p> <p>岩手県</p> <p>鈴木 俊一</p> <p>宮城県</p> <p>土井 亨 渡辺 勝幸 西村 明宏 森下 千里 小野寺 五典</p> <p>秋田県</p> <p>富樫 博之 福原 淳嗣 御法川 信英</p> <p>山形県</p> <p>遠藤 寛明 鈴木 憲和 加藤 鮎子</p> <p>福島県</p> <p>西山 尚利 根本 拓 上杉 謙太郎 坂本 竜太郎</p> <p>栃木県</p> <p>船田 元 五十嵐 清 築 和生 石坂 太 茂木 敏充</p> <p>群馬県</p> <p>井野 俊郎 笹川 博義 小淵 優子</p>	<p>埼玉県</p> <p>村井 英樹 新藤 義孝 黄川田 仁志 穂坂 泰 尾花 瑛仁 中野 英幸 柴山 昌彦 大塚 拓 山口 晋 小泉 隆司 野中 厚 三ツ林 裕巳 田中 良生 土屋 品子</p> <p>千葉県</p> <p>門山 宏哲 小林 鷹之 松野 博一 鹿嶋 祐介 英利 アルフィヤ 齋藤 健 森 英介 浜田 靖一 松本 尚</p> <p>東京都</p> <p>山田 美樹 辻 清人 石原 宏高 平 将明 若宮 健嗣 畦元 奨吾 丸川 珠代 門 寛子 菅原 一秀 鈴木 隼人 下村 博文 高木 啓 土田 慎 松島 みどり 大空 幸星 大西 洋平 平沢 勝栄 福田 かおる 松本 洋平 木原 誠二 小田原 潔 伊藤 達也 川松 真一郎 萩生田 光一 井上 信治</p>	<p>今岡 植 黒崎 祐一 安藤 高夫 長沢 興祐 長島 昭久</p> <p>神奈川県</p> <p>丸尾 なつ子 にった 章文 中西 けんじ 永田 まりな さかい 学 古川 なおき 鈴木 けいすけ みたに 英弘 上原 まさひろ 田中 かずのり 小泉 進次郎 星野 つよし まるた こう一郎 あかま 二郎 河野 太郎 佐藤 まさし 牧島 かれん やまぎわ 大志郎 くさま 剛 金沢 ゆい</p> <p>山梨県</p> <p>堀内 詔子</p> <p>新潟県</p> <p>内山 航 国定 勇人 斎藤 洋明 鷲尾 英一郎 高鳥 修一</p> <p>富山県</p> <p>中田 宏 上田 英俊 橋 慶一郎</p> <p>石川県</p> <p>小森 卓郎 佐々木 紀 西田 昭二</p> <p>福井県</p> <p>稲田 朋美</p>	<p>長野県</p> <p>藤田 ひかる 井出 庸生 後藤 茂之</p> <p>岐阜県</p> <p>野田 聖子 古屋 圭司</p> <p>静岡県</p> <p>上川 陽子 深澤 陽一 勝俣 孝明 城内 実</p> <p>愛知県</p> <p>工藤 彰三 丹羽 秀樹 伊藤 忠彦 長坂 康正 若山 慎司 今枝 宗一郎 根本 幸典</p> <p>三重県</p> <p>田村 憲久 川崎 ひでと 鈴木 英敬</p> <p>滋賀県</p> <p>大岡 敏孝 上野 賢一郎 武村 展英 小寺 裕雄</p> <p>京都府</p> <p>勝目 康 藤田 洋司 繁本 護 北神 圭朗 本田 太郎 園崎 弘道</p> <p>大阪府</p> <p>中山 泰秀 谷川 とむ</p> <p>兵庫県</p> <p>盛山 正仁 関 芳弘 谷 公一 大串 正樹 山田 賢司</p>	<p>西村 康稔 渡海 紀三朗</p> <p>奈良県</p> <p>小林 茂樹 高市 早苗 田野瀬 太道</p> <p>和歌山県</p> <p>山本 大地</p> <p>鳥取県</p> <p>石破 茂 赤澤 亮正</p> <p>島根県</p> <p>たかがい 恵美子 高見 康裕</p> <p>岡山県</p> <p>逢沢 一郎 山下 貴司 加藤 勝信 橋本 岳 平沼 正二郎</p> <p>広島県</p> <p>岸田 文雄 平口 洋 石橋 林太郎 新谷 正義 小林 史明 寺田 稔</p> <p>山口県</p> <p>高村 正大 岸 信千代 林 芳正</p> <p>徳島県</p> <p>山口 俊一</p> <p>愛媛県</p> <p>塩崎 彰久 長谷川 淳二 村上 誠一郎</p> <p>高知県</p> <p>中谷 元 尾崎 正直</p>	<p>福岡県</p> <p>井上 貴博 鬼木 誠 麻生 太郎 武田 良太</p> <p>佐賀県</p> <p>岩田 和親 古川 康</p> <p>長崎県</p> <p>金子 容三</p> <p>熊本県</p> <p>木原 稔 西野 太亮 坂本 哲志 金子 恭之</p> <p>大分県</p> <p>衛藤 博昭 広瀬 建 岩屋 毅</p> <p>宮崎県</p> <p>武井 俊輔 江藤 拓 古川 禎久</p> <p>鹿児島県</p> <p>宮路 拓馬 三反園 訓 小里 泰弘 森山 裕 保岡 宏武</p> <p>沖縄県</p> <p>國場 幸之助 宮崎 政久 島尻安伊子 西銘 恒三郎</p>
--	---	--	---	--	---

第30回都議会自民党日政連関係議員懇談会を開催

全日本不動産政治連盟東京都本部では、昨年11月28日に平成5年から継続的に開催され、今回で第30回目となる都議会自民党日政連関係議員懇談会を都議会議事堂で開催した。当日は現職の自民党都議会議員（22名出席）のほか、行政から東京都住宅政策本部の担当者も参加した。

懇談会に先立ち、住宅政策本部の担当者より、8月に提出した都議会への予算要望ヒアリングの経過報告と今後の展望について状況報告があった。

続いて行われた意見交換会では、表Iが示す様々なテーマに積極的な対応を行うとともに、安心・安全なまちづくりに寄与されるよう強く要望し、闊達な意見交換を行った。

限られた時間だったが、各選挙区の現職議員と地域役員がテーブルを囲み、当該地域ならではの課題または改善点の意見や提案等、都民が安心できる住空間づくりと快適な都市環境の提供に向けた話し合いが行われ、懇談会の最後には引き続き不動産業界の発展につなげていくことを約束して懇談会は盛会裏に終了した。



懇談会の様子

表I 持続可能な都市環境形成に向けた重点要望事項

政策カテゴリー	重点施策・要望内容	目指すべき具体的ゴール(意図)
都市環境・防災	SDGsを軸としたまちづくりの推進	セーフシティ(安全な都市)の具現化と、都政の停滞防止
高齢者対策	高齢者いきいき住宅認定制度の構築	高齢者が安心して暮らせる住環境の公的規格化
住宅助成	認定制度に伴う助成措置等の拡充	認定住宅の普及促進と、事業者の参入意欲向上
空き家対策	空き家活用の普及啓発と事業の充実	都内で急増する空き家問題への対応と有効利用の促進

広島県議会議長への表敬訪問と
新知事への挨拶を実施

令和8年1月16日(金)、伊折一夫本部長をはじめ、田村利恵幹事長、金田千穂会計責任者、中村克己前本部長は、広島県議会の中本隆志議長の議長室を訪ねた。昨今の選挙情勢や地域経済の動向、不動産業界が直面する政策課題について多角的な視点から活発な意見交換が行われ、官民連携の

重要性を再確認する有意義な場となった。

議長室での会談後、新しく広島県知事に就任した横田美香氏を公式に訪問した。就任への祝意を伝えると同時に、名刺交換を通じて今後の緊密な関係構築を確認した。



表敬訪問の様子

主な内容

- ・中本隆志広島県議会議長を訪問
- ・地域密着のロビー活動
- ・新知事・横田美香氏への公式訪問
- ・緊密な連携体制の構築

顧問県議を招いた県政報告会
および意見交換会を開催

令和8年2月20日(金)、地域社会の課題が複雑化する中、公益社団として現場の声を政策に反映させることを目的として、顧問県議を招いた県政報告会および意見交換会を開催した。

顧問県議からは、静岡県が抱えている財政課題、令和7年9月に発生した竜巻被害による防災対策のあり方、盛土規制法への対

応方針、高齢化に伴う遺贈への取り組み等、建設的な話しを聞くことができた。

本会を通じて、地域の現場で活動する会員の声を直接県政に届けることができ、また、顧問県議からも前向きな意見が寄せられ、今後の政策提言への足がかりとなる有意義な機会となった。



相坂撰治 静岡県議会議員

主な内容

- ・現場の声を県政へ反映
- ・重要法案・行政課題への理解
- ・激甚化する災害への対応

